

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	演習	
科目名	C言語	
担当教員	実務経験あり。システム開発の実務経験あり。	
必須選択	必須	
授業時間	56時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	ゲーム開発に必要となる基本知識として、C言語プログラムを習得。	
授業の内容 ／計画	<p>システム開発の実務経験のある講師によるプログラミングの実習。 実務経験からプログラミングに必要な知識、技術についての基礎を履修する。</p> <p>以下の内容を履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①入出力の基礎 ②算術記述の基礎 ③条件分岐 ④繰り返し ⑤関数 ⑥ポインタ ⑦配列 ⑧構造体 ⑨ファイル入出力 	
試験／成績 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①進行状況に合わせ、課題を出題 ②出席状況 <p>総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	演習	
科目名	C++	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	64時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	ゲーム開発に必要となる基本知識として、C++プログラムを習得。	
授業の内容 ／計画	<p>システム開発の実務経験のある講師によるプログラミングの実習。 実務経験からプログラミングに必要な知識、技術についての基礎を履修する。</p> <p>以下の内容を履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①C言語との違い ②C++独自の記述方法 ③クラスの基礎 ④クラス設計について ⑤継承 ⑥テンプレートクラス 	
試験／成績 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①進行状況に合わせ、課題を出題 ②出席状況 <p>総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	演習	
科目名	ゲーム開発総合	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	128時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	3つのゲーム開発を通して、ゲーム開発に必要な知識を学ぶ	
授業の内容 ／計画	以下の内容を履修する。 ①シューティングゲーム開発 ②アクションゲーム開発 ③パズルゲーム開発 ④Unityを用いたオリジナルゲーム開発	
試験／成績 評価方法	①シューティング・アクション・パズルゲームの進捗状況 ②オリジナルゲーム提出 ③出席状況	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	演習	
科目名	プレゼンテーション演習	
担当教員	実務経験あり。システム開発の実務経験あり。	
必須選択	必須	
授業時間	128時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	PowerPointなどのプレゼンテーションソフトの使用方法習得。 自身の考えをまとめ、相手に伝える事を意識した資料作成方法の習得。	
授業の内容 ／計画	システム開発の実務経験のある講師によるプレゼン実習。 実務経験からプレゼンに必要な知識、技術についての基礎を履修する。 ゲーム開発ディレクターから、実務経験で必要となるプレゼン資料の作り方やゲームプランニングについて履修する。 以下の内容を履修する。 ①PowerPointの使い方 ②自己紹介プレゼンテーション資料の作成・発表 ③自身の好きな作品についてプレゼンテーション資料の作成・発表 ④3つの遊びの中から1つを選び、プレゼン資料の作成・発表 ⑤テーマに合わせたオリジナルタイトルのプレゼン資料作成・発表 ⑥ゲーム作品設計の基礎 ⑦自身の作成するオリジナルタイトルの企画作成	
試験／成績 評価方法	①各プレゼンテーション資料の提出 ②出席状況 総合点が6割に満たない場合は欠点	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	後期	
授業方法	演習	
科目名	2Dゲームプログラミング	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	64時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	ゲームアルゴリズムと綺麗なプログラミングの取得を目指す	
授業の内容 ／計画	以下の内容を履修する。 ①綺麗なコーディングルール ②命名ルール ③コメント ④発表会ゲームのコーディング修正 ⑤ゲームアルゴリズム	
試験／成績 評価方法	①課題提出 ②出席状況	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	後期	
授業方法	演習	
科目名	ライブラリ制作	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	64時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	ゲームを作るためのライブラリを作り、ゲームエンジンの仕組みを知る	
授業の内容 ／計画	以下の内容を履修する。 ①2D描画 ②Input ③Audio ④ゲームシステム ⑤マルチスレッド	
試験／成績 評価方法	①ゲームエンジンの提出 ②オリジナルゲームの提出 ③出席状況	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	後期	
授業方法	演習	
科目名	就職対策I	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	64時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	<p>将来の就職活動に向けた、自身の作品制作およびスキル面において新たな分野に挑戦し、技術力の向上を目的として取り組む。 さらにスケジュールについても自身で作成および管理を行い、より実践的な開発環境において作品制作に取り組む。</p>	
授業の内容／計画	<p>以下の内容を履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自身の現在のスキルチェック ②チャレンジ要素の選出 ③要素に合わせたゲーム企画または作品企画の作成 ④作品仕様およびスケジュール概要の作成 ⑤実制作 ⑥スケジュール遅延による問題対処方法 	
試験／成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①課題提出 ②出席状況 <p>総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	演習	
科目名	C#	
担当教員		
必須選択	選択	
授業時間	32時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野1年	
履修条件	特になし	
到達目標	C#を理解し、Unityで使えるようになる事	
授業の内容 ／計画	<p>以下の内容を履修する。</p> <p>①C#について ②C#の基礎文法を習得 ③Unityで使用するC#について ④Unityで動作するゲームを作成し、プレイヤーの操作等を制御する</p> <p>提出課題としてUnityでゲームを作成し、各オブジェクトの動きをスクリプトで制御したモノを提出する。制御する項目については、こちらで指示をする。例)プレイヤーのカメラ制御等</p>	
試験／成績 評価方法	<p>①提出物(指定した課題の提出) 総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	演習	
科目名	C言語(選)	
担当教員		
必須選択	選択	
授業時間	32時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野1年	
履修条件	特になし	
到達目標	C言語の習得	
授業の内容 ／計画	以下の内容を履修する。 ①必須科目のC言語の補足説明 ②関数、ポインタを中心に解説 ③課題提出	
試験／成績 評価方法	提出課題により評価 総合点が6割に満たない場合は欠点	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	講義	
科目名	ゲーム数学	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	56時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	ゲームプログラムで必要となる数学の基礎知識の習得	
授業の内容 ／計画	<p>以下の内容を履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①整数について ②少数について ③演算(シフト演算・論理演算) ④2次元について(ベクトルと座標) ⑤角度(回転・三角関数・内積) ⑥時間とフレーム ⑦運動 <p>必要に応じてプログラミングを使って説明を行う。</p>	
試験／成績 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①実施单元ごとの小テストを実施(計12回) ②出席状況 <p>総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	講義	
科目名	フローチャート理論	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	28時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野1年	
履修条件	特になし	
到達目標	プログラミングにおける基本的な流れ図の理解	
授業の内容 ／計画	<p>以下の内容を履修する。</p> <p>①流れ図の記号について ②やさしいCの課題について流れ図を作成する。 ③基本的なソートについての流れ図を作成。 ④基本記号を学んだあとは、提出課題形式で対応。 ⑤各自のペースで課題を進める。</p>	
試験／成績 評価方法	提出課題にて採点	
その他		

開講年度	2022
開講学期	前期
授業方法	講義
科目名	ゲームアルゴリズム
担当教員	実務経験あり。システム開発の実務経験あり。
必須選択	必須
授業時間	28時間 (状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野1年
履修条件	特になし。
到達目標	ゲーム制作における、アイデア発想力向上と、作品分析力の向上。
授業の内容 ／計画	以下の内容を履修する。 ①アイデア出しの方法 ②アイデアのまとめ方 ③アイデアをゲームシステムに落とし込む方法 ④既存ゲームタイトルの要素分析 ⑤業界分析
試験／成績 評価方法	①課題提出 ②出席状況 総合点が6割に満たない場合は欠点
その他	

開講年度	2022	
開講学期	通年	
授業方法	講義	
科目名	CG概論 I	
担当教員	実務経験有り。Webデザイン、画像処理、コンサルティング事業	
必須選択	必須	
授業時間	112時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野1年	
履修条件	特になし	
到達目標	CGエンジニア検定ベーシック合格レベルの、CGの基本的な技術の理解を目指す。アニメーション、映像、ゲーム、VR、ARアプリなどの、ソフトウェアの開発やカスタマイズ、システム開発、作品制作を行うための基礎知識を修得する。	
授業の内容 ／計画	<p>実務経験の中で必要となる知識が集約された資格取得について履修する。各内容について、資格取得の為の知識だけでなく、実際に経験した事を交えて授業を行う。</p> <p>以下の分野を履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①デジタルカメラモデルとビジュアル情報処理の原理の対応 ②コンピュータで形を数値的に記述するモデリング技術 ③デジタルカメラモデルにおける写実的な表現技法 ④多数の静止画を連続表示して動きを見せるアニメーション技法 ⑤画像の濃淡変換に関する各種処理技術 ⑥ビジュアル情報処理及びCG専用システムと周辺機器 ⑦知的財産権と情報セキュリティ 	
試験／成績 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①学習分野ごとの修得確認テストの累積による全体評価(合計60点満点) ②講義への取組み状況評価(40点満点) <p>①と②の合計により総合評価点を算出する。 総合評価点が6割に満たない場合は未認定とする。</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	講義	
科目名	キャリア対策 I	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	56時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	基礎学力の向上および、自身の将来への目標設定とその達成。	
授業の内容 ／計画	以下の内容を履修する。 ①SPI対策(言語、非言語) ②作文作成 ③自己PR文章作成 ④履歴書作成 ⑤面接指導 ⑥目標設定 ⑦業界分析	
試験／成績 評価方法	①課題提出 ②出席状況 総合点が6割に満たない場合は欠点	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	講義	
科目名	C言語試験対策	
担当教員	実務経験あり。システム開発の実務経験あり。	
必須選択	必須	
授業時間	56時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	C言語プログラミング能力認定試験3級および2級の合格	
授業の内容 ／計画	以下の内容を履修する。 ①C言語記述の基礎解説 ②資格試験過去問題の実施および解説	
試験／成績 評価方法	①検定類題の小テストを合計7回実施 ②出席状況 総合点が6割に満たない場合は欠点	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	講義	
科目名	新技術概論	
担当教員		
必須選択	選択	
授業時間	32時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野1年	
履修条件	特になし	
到達目標	最新技術について学び、新しい技術への知識の幅を広げる	
授業の内容 ／計画	以下の内容を履修する。 ①最新技術について調べてレポートを提出。 ②レポートの内容によっては、プレゼンテーションを実施。 ③プレゼンを行った技術について意見を述べ、理解を深める。	
試験／成績 評価方法	提出課題により評価 総合点が6割に満たない場合は欠点	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	講義	
科目名	試験対策	
担当教員		
必須選択	選択	
授業時間	32時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野1年	
履修条件	特になし	
到達目標	基本情報取得	
授業の内容 ／計画	以下の内容を履修する。 ①過去問題の解答と解説 ②予測問題の解答と解説 ③午後対策(言語系)	
試験／成績 評価方法	過去問題、予測問題の正解率により評価 総合点が6割に満たない場合は欠点	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	演習	
科目名	C言語II	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	56時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	C言語プログラミングにて各種ファイル操作やアルゴリズム解析を行う。	
授業の内容 ／計画	システム開発の実務経験のある講師によるプログラミングの実習。 実務経験からプログラミングに必要な知識、技術についての基礎を履修する。 以下の内容を履修する。 ①テキストデータの読み書き処理 ②バイナリデータの読み書き処理 ③画像データの読み込み処理	
試験／成績 評価方法	①課題提出 ②出席状況 総合点が6割に満たない場合は欠点	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	演習	
科目名	就職対策Ⅱ	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	56時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野2年	
履修条件	プログラムの基礎を理解している。	
到達目標	就職活動に必要となる作品のブラッシュアップ	
授業の内容 ／計画	①個別に作品についてブラッシュアップ指導を行う。 ②就職活動で使用する作品の制作 ③見やすいコードの書き方や適切なコメントの入れ方を指導。 ④企画についての提案や訂正を行う。	
試験／成績 評価方法	提出した課題によって採点	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	演習	
科目名	3Dライブラリ制作	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	64時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	1年時に作成したライブラリを3Dライブラリに改造し3Dに必要な技術を学ぶ	
授業の内容 ／計画	以下の内容を履修する。 ①3D環境の作成 ②モデル表示 ③シェーディング ④スキンモデルの表示 ⑤マルチレンダリングとその応用	
試験／成績 評価方法	①課題提出 ②出席状況	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	演習	
科目名	2D運動プログラム	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	56時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野2年	
履修条件	プログラムの基礎を理解している。	
到達目標	物理演算を用いたプログラムの理解	
授業の内容 ／計画	<p>簡単な物理運動についての理解をし、プログラムに組み込む</p> <p>①重力 ②放物線 ③ばね ④振り子 ⑤①～④についての要素を入れた簡単なゲームを作成する。</p> <p>・ゲームジャンルについては特に指定しない。 ・必ず①～④の内容をプログラムに含める。</p>	
試験／成績 評価方法	<p>提出した課題によって採点</p> <p>・プログラムについて適切にコメント等が入っているか ・指定された動きができていないか等</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	後期	
授業方法	演習	
科目名	卒業制作	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	64時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	卒業制作は、学生個人の自由テーマとする。 学内で実施される制作発表会に向けてオリジナルのアプリ開発を行う。	
授業の内容 ／計画	制作発表会に向けて、集大成となるオリジナルのアプリ(ゲーム)開発を行う。 以下の内容を履修する。 各自で作品を考案しスケジュール管理を行い、オリジナル作品制作する。 ①テーマの決定 ②必要なライブラリ、素材の準備 ③企画書の作成 ④納期に従って制作スケジュールを作成 ⑤制作、報告 作品については、制作発表会で出展 ※チームでの制作も認める。	
試験／成績 評価方法	①課題提出 ②出席状況 総合点が6割に満たない場合は欠点	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	後期	
授業方法	演習	
科目名	3Dゲーム開発	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	64時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	Unityの基礎知識を身に付ける。 Unityを用いてジャンルを問わず、オリジナル3Dゲームを作り上げる。	
授業の内容 ／計画	<ul style="list-style-type: none"> ①Unityの基礎 ②Unityの各機能について ③3Dゲーム制作 ④オリジナルのゲーム作成 ⑤作った作品のブラッシュアップ 	
試験／成績 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①課題提出 ②出席状況 	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	後期	
授業方法	演習	
科目名	アプリケーション開発	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	56時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	ゲームエンジンの基礎を学び、ゲーム作品を制作する。	
授業の内容 ／計画	<p>システム開発の実務経験のある講師によるプログラミングの実習。 実務経験から、適切なコメント等、見やすいコーディングについて、就職作品を制作しながら履修する。</p> <p>以下の内容を履修する。</p> <p>①Unityの操作方法の解説 ②玉転がしゲームの作成 ③鬼ごっこゲームの作成 ④ステージ探索型3Dアクションゲームの作成</p>	
試験／成績 評価方法	<p>①課題提出 ②出席状況 総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	後期	
授業方法	演習	
科目名	3D運動プログラム	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	64時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	3Dライブラリの構築を目指す	
授業の内容 ／計画	<p>以下の内容を履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ビリヤード <ul style="list-style-type: none"> ・環境構築 ・モデル描画 ・反射と反発係数 ・球体同士の衝突とエネルギーの消失 ②アクション(広い空間) <ul style="list-style-type: none"> ・空間の構築 ・ジャンプアクションの落下速度 ・浮遊における加速度の考え方 ③アクション(狭い空間・敵有り) <ul style="list-style-type: none"> ・壁ぞり ・敵との衝突 	
試験／成績 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①課題提出 ②出席状況 	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	演習	
科目名	グループワーキング	
担当教員	実務経験あり。システム開発の実務経験がある講師が担当	
必須選択	必須	
授業時間	128時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	チームでの制作を通し、コミュニケーション能力やスケジュール管理能力の向上を目的とする。	
授業の内容／計画	<p>システム開発の実務経験のある講師によるプログラミングの実習。 実務経験から、適切なコメント等、見やすいコーディングについて、就職作品を制作しながら履修する。また、チーム開発における、作業の分割やスケジュール管理などを履修する。</p> <p>以下の内容を履修する。</p> <p>①日本ゲーム大賞応募へ向けたゲーム作品の制作 ②小規模ゲーム作品の制作 ③スケジュール管理工程表の作成</p>	
試験／成績評価方法	<p>①課題提出 ②出席状況 総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	演習	
科目名	ゲームプログラミング	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	128時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	小規模なゲーム制作を繰り返し、自身の技術向上を目的とする。	
授業の内容 ／計画	以下の内容を履修する。 ①ゲーム制作に使用するアルゴリズム ②グラフィックの描画関係のアルゴリズム ③描画基礎アルゴリズム実習 ④レンダリングの基礎アルゴリズム実習 ⑤1プレイ30秒ほどのゲーム制作	
試験／成績 評価方法	①課題提出 ②出席状況	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	演習	
科目名	実践プログラム	
担当教員		
必須選択	選択	
授業時間	32時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	Windows Formsを使用し、ゲーム開発に使用するツールの制作を行う。 目標成果物として、マップエディタやパラメータ設定ツールなどを想定。	
授業の内容 ／計画	以下の内容を履修する。 ①WindowsFormsの基本 ②簡単なFormアプリの作成 ③ツール仕様策定 ④ツール制作	
試験／成績 評価方法	①課題提出 ②出席状況 総合点が6割に満たない場合は欠点	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	演習	
科目名	シェーダプログラム	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	32時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	DirectX12を用いて、3Dモデルに色や模様を付け方を学ぶ	
授業の内容 ／計画	<p>以下の内容を履修する。</p> <p>①DirectX12の環境構築 ②3Dモデルの表示(単色・頂点カラー) ③3Dモデルテクスチャ貼り付け ④グラフィックスデバック</p>	
試験／成績 評価方法	①出席状況 ②課題	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	演習	
科目名	2D運動プログラム実習	
担当教員		
必須選択	選択	
授業時間	32時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野2年	
履修条件	2D運動プログラムの単位を取得している事	
到達目標	物理演算を用いたプログラムの理解	
授業の内容 ／計画	<p>簡単な物理運動についての理解をし、プログラムに組み込む</p> <p>①重力 ②放物線 ③ばね ④振り子 ⑤①～④についての要素を入れた簡単なゲームを作成する。</p>	
試験／成績 評価方法	物理演算を組み込んだゲームエンジンの提出 提出した課題によって評価	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	講義	
科目名	3D理論	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	56時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	3D表示の知識を学ぶ	
授業の内容 ／計画	以下の内容を履修する。 ①点・線・面の表示 ②ビューイングパイプライン ③モデル(頂点・インデックス・法線・UV) ④光源・材質 ⑤表示までのデータの流れ	
試験／成績 評価方法	①課題提出 ②出席状況	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	講義	
科目名	ゲーム数学Ⅱ	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	56時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	3Dゲーム開発に必要な数学を習得	
授業の内容 ／計画	以下の内容を履修する。 ①物理の基礎知識について ②運動について ③放物運動 ④ジャンプ(跳ね返り) ⑤3次元 ⑥マトリックスについて ⑦衝突 ⑧ベクトルについて	
試験／成績 評価方法	①課題提出 ②出席状況	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	講義	
科目名	キャリア対策Ⅱ	
担当教員	ゲーム開発実務経験有り。企業協力授業。	
必須選択	必須	
授業時間	56時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	ゲーム分野2年	
履修条件	就職活動対象者	
到達目標	業界への内定を目標としたキャリア教育	
授業の内容 ／計画	<p>企業協力授業 業界に必要となる心構えや就職作品に対し、技術的な指導を行う。</p> <p>面接指導を含め、履歴書や提出作品について指導を行う。 業界へ就職する為に必要となる知識、技術、社会人としての心構えについて、企業と連携し指導を行う。</p> <p>①面接対策 ②業界研究 ③履歴書の作成 ④自己PRの作成 ⑤就職作品に対して、技術的なアドバイス</p>	
試験／成績 評価方法	提出した課題により評価	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	演習	
科目名	デッサン	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	128時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	視覚的な表現を可能にする為には多くの技術を会得する必要があり、造形の基本であるデッサンを通じて様々な表現に必要な描く為のモノを見る力と、描画技術を高める。	
授業の内容 ／計画	<p>前期では主にスケッチブックに鉛筆デッサンを中心に形、質感、量感などデッサンの基礎を捉える後期ではB3画用紙に鉛筆デッサンを中心に静物画、人物画などで視点、構図、バランス感覚を高める。</p> <p>①鉛筆の使い方(直線、曲線、グレースケール) ②ハッチング(モチーフに面に沿った線で立体を表現する) ③遠近法、透視図(パースを理解してモノの遠近感を表現する) ④陰影表現(幾何形態をモチーフに輪郭線に捉われず光と影で表現する) ⑤質感表現(硬いモノ柔らかいモノ透明なモノ不透明なモノ重たいモノ軽いモノ) ⑥構図バランス(複数のモチーフをバランスよく配置する) ⑦人物クロッキー(全体の大きなバランスやフォルムを認識する) ⑧石膏像(細部までの描写力を付けていく) ⑨人物画(自画像) ⑩静物画</p>	
試験／成績 評価方法	提出作品の評価と授業(課題)に取り組む姿勢。6割に満たない場合は欠点	
その他	80%以上の出席必要	

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	演習	
科目名	2D実習基礎	
担当教員	Webデザインにかかわる実務経験有り	
必須選択	必須	
授業時間	64時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野1年	
履修条件	特になし	
到達目標	2D制作において必須である、ソフトウェア操作とデザインの基本的な技術の習得を目指す。ソフトウェアの操作技術、デザイン技術のスキルアップを目指す。	
授業の内容 ／計画	デザイン業務をする場合に必要となる、ソフトの基本的な使い方について、実務経験から得た効率の良い使い方について学ぶ。 以下の内容を履修する。 ①Illustrator、Photoshopの基本操作 ②文字組について ③配色について ④画像の加工及び画像を使用したレイアウト構成について ⑤印刷用データについて ⑥コンテスト応募	
試験／成績 評価方法	①実施单元ごとの課題を提示 ②出席状況 総合点が6割に満たない場合は欠点 採点計算方法:素点+(60×出席率)	
その他	80%以上の出席必要	

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	演習	
科目名	3D実習基礎	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	64時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	3DCG制作ソフト「MAYA」の操作方法とそれを用いた3DCG制作技術の基礎を学ぶ。ソフトの起動方法から制作を通した完成までのワークフローを習得する。ゲームエンジンへの応用も併せて行う	
授業の内容／計画	3DCG制作において、実務経験から得たソフトの使い方を中心に、効率の良い制作方法、ソフトの使い方について指導を行う。 ①MAYAの基本操作、ファイルの扱い方。 ②ポリゴンを使った3DCGモデリング。 ③マテリアルの理解と基本設定。 ④UV展開方法とマッピング技法。 ⑤Photoshopを使用した、テクスチャ画像作成技法 ⑥ライティング(照明)の基本設定。 ⑦カメラの基本設定 ⑧レンダリングの基本設定と出力方法。 ⑨キーフレームアニメーションの実制作とレンダリング方法。 ⑩アニメーション制作におけるリギングの基本設定。 ⑪ゲームエンジンへのデータ出力演習	
試験／成績評価方法	①提出課題の評価 ②出席状況 総合点が6割に満たない場合は欠点	
その他	出題された課題はすべて提出すること。	

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	演習	
科目名	キャラクターデザイン I	
担当教員	イラストレーターとして実務経験有り	
必須選択	必須	
授業時間	112時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	キャラクターを描くためのパースや頭身バランスの履修	
授業の内容 ／計画	<p>実務経験から、クライアントから依頼のあった多種多様なキャラクターイラスト案件について対応できるように、キャラクターを描く為に必要な技術を指導する。</p> <p>以下の内容を履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①イラスト制作に必要な基本ツールの習得 ②CGでのイラストの制作方法 ③キャラクターデッサン(顔、全身、頭身バランス) ④テーマの表現(四季をイラストで描く) ⑤パース ⑥背景と人物 ⑦学園祭用ポストカード制作 	
試験／成績 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①手描きとデジタル、両方を使って勉強していく ②出席状況 <p>総合点が6割に満たない場合は欠点 採点計算方法:素点+(60×出席率)</p>	
その他	80%以上の出席必要	

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	演習	
科目名	2DCG	
担当教員	Webデザインにかかわる実務経験有り	
必須選択	必須	
授業時間	128時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野1年	
履修条件	特になし	
到達目標	2D制作において必須である、ソフトウェア操作とデザインの基本的な技術の習得を目指す。ソフトウェアの操作技術、デザイン技術のスキルアップを目指す。	
授業の内容 ／計画	<p>デザイン業務をする場合に、必要となるソフトウェアの基本的な、使い方について、実務経験から得た効率の良い使い方について学ぶ。</p> <p>以下の内容を履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①Illustrator、Photoshopの基本操作 ②パスの理解及びイラストの作成 ③文字・フォントについて ④配色について ⑤デザインレイアウトの基本について ⑥印刷用データについて 	
試験／成績 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①実施單元ごとの課題を提示 ②出席状況 <p>総合点が6割に満たない場合は欠点 採点計算方法: 素点 + (60 × 出席率)</p>	
その他	80%以上の出席必要	

開講年度	2022	
開講学期	後期	
授業方法	演習	
科目名	3DCG	
担当教員		
必須選択	必須選択	
授業時間	64時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	キャラクターを中心とした3Dモデリングを学び基礎造形力の向上を目指す。	
授業の内容 ／計画	<p>3DCG制作において、実務経験から得たソフトの使い方を中心に、効率の良い制作方法、ソフトの使い方について指導を行う。</p> <p>以下の内容を履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人体や背景等より実践的なモデリング ②マテリアル/テクスチャー作成応用 ③Arnoldを用いた、より高度なレンダリング手法 	
試験／成績 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①提出課題の評価 ②出席状況 <p>総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	後期	
授業方法	演習	
科目名	映像編集	
担当教員	ゲームキャラクター制作等の実務経験有り	
必須選択	必須選択	
授業時間	32時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野1年	
履修条件	前期授業「3D基礎」を履修済みであること。	
到達目標	AfterEffectsを用いた映像編集方法の基礎を学ぶ。 ポートフォリオ用映像作品に展開できるようになる。	
授業の内容 ／計画	<p>以下の内容を履修する。</p> <p>①MAYAを用いた連番ファイルのレンダリング手法 ②After Effectsを用いた連番ファイルのインポート手法 ③After Effectsを用いた映像編集手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編集の概念 ・カット編集の方法 ・映像のトリミング、静止画データの書き出し手法 ・音声データのインポート ・エフェクト作成の基本 <p>④After Effectsを用いたエフェクト作成手法 ③After Effectsを用いた動画ファイルのエクスポート手法</p>	
試験／成績 評価方法	<p>①提出課題の評価 ②出席状況 総合点が6割に満たない場合は欠点 採点計算方法:素点+(60×出席率)</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	後期	
授業方法	演習	
科目名	3Dアニメーション	
担当教員	ゲームキャラクター制作等の実務経験有り	
必須選択	必須選択	
授業時間	32時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野1年	
履修条件	特になし	
到達目標	キーフレームアニメーション制作の基礎を学び、キャラクターモーションを作成できるようになる。ボーンやリギング構成の基本理解とカメラの基本設定方法を習得する。	
授業の内容 ／計画	<p>以下の内容を履修する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①キーフレームアニメーションの設定方法 ②カメラの基本設定方法 ③バウンスイングボール(バウンドするボール)のアニメーション作成 ④ジャンプボールアニメーションの作成 ⑤キャラクターの歩行モーションの作成 ⑥キャラクターの走りモーションの作成 ⑦キャラクターのパンチ・キックモーションの作成 ⑧キャラクターの武器モーションの作成 	
試験／成績 評価方法	<ol style="list-style-type: none"> ①提出課題の評価 ②出席状況 <p>総合点が6割に満たない場合は欠点 採点計算方法:素点+(60×出席率)</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	後期	
授業方法	演習	
科目名	Webデザイン	
担当教員	Webデザインにかかわる実務経験有り	
必須選択	必須選択	
授業時間	64時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野1年	
履修条件	特になし	
到達目標	<p>アートディレクタ・Webデザイナー・コーダとして求められる、Webサイトの制作技術を実習を通して習得することを目指す。</p> <p>企画に応じたデザイン案を制作する。必要なビジュアル要素を制作、デザインをコーディングする。レスポンスWebデザインの習得を目指す。</p>	
授業の内容／計画	<p>実務としてWebサイトの構築を行った時に、必要となる技術、知識の基本について指導を行う。</p> <p>以下の分野を履修する。</p> <p>①基礎的なHTMLによるWebページ制作(構造定義) ②基礎的なスタイルシート(CSS)による体裁の定義 HTML5+CSS3でのWebサイト ③コンセプトに応じたレイアウトの展開 ④コンセプトに応じた配色の展開 ⑤コンセプトに応じたタイポグラフィの展開 ⑥コンセプトに応じた写真のレタッチ ⑦コンセプトに応じた図版の制作 Webサイト制作の実践 ⑧ヘッダー、バナー、スライダーなどの画像作成 ⑨Web版ポートフォリオ作成 ⑩運用</p>	
試験／成績評価方法	<p>①実施單元ごとの課題を提示 ②出席状況 総合点が6割に満たない場合は欠点 採点計算方法:素点+(60×出席率)</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	後期	
授業方法	演習	
科目名	Webプログラミング	
担当教員	Webデザインにかかわる実務経験有り	
必須選択	必須選択	
授業時間	32時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野1年	
履修条件	特になし	
到達目標	<p>アートディレクタ・Webデザイナー・コーダとして求められる、Webサイトの制作技術を実習を通して習得することを目指す。</p> <p>企画に応じたデザイン案を制作する。必要なビジュアル要素を制作、デザインをコーディングする。レスポンスWebデザインの習得を目指す。</p>	
授業の内容／計画	<p>実務としてWebサイトの構築を行った時に、必要となる技術、知識の基本について指導を行う。</p> <p>以下の分野を履修する。</p> <p>①基礎的なHTMLによるWebページ制作(構造定義) ②基礎的なスタイルシート(CSS)による体裁の定義 HTML5+CSS3でのWebサイト ③コンセプトに応じたレイアウトの展開 ④コンセプトに応じた配色の展開 ⑤コンセプトに応じたタイポグラフィの展開 ⑥コンセプトに応じた写真のレタッチ ⑦コンセプトに応じた図版の制作 Webサイト制作の実践 ⑧レスポンスWebデザイン対応のサイト制作 ⑨Web版ポートフォリオ作成 ⑩運用</p>	
試験／成績評価方法	<p>①実施單元ごとの課題を提示 ②出席状況 総合点が6割に満たない場合は欠点 採点計算方法:素点+(60×出席率)</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	後期	
授業方法	演習	
科目名	デザイン学(Web)	
担当教員	Webデザインにかかわる実務経験有り	
必須選択	必須選択	
授業時間	32時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野1年	
履修条件	特になし	
到達目標	<p>アートディレクタ・Webデザイナー・コーダとして求められる、Webサイトの制作技術を実習を通して習得することを目指す。</p> <p>企画に応じたデザイン案を制作する。必要なビジュアル要素を制作、デザインをコーディングする。レスポンスWebデザインの習得を目指す。</p>	
授業の内容／計画	<p>実務としてWebサイトの構築を行った時に、必要となる技術、知識の基本について指導を行う。</p> <p>以下の分野を履修する。</p> <p>①基礎的なHTMLによるWebページ制作(構造定義) ②基礎的なスタイルシート(CSS)による体裁の定義 HTML5+CSS3でのWebサイト ③コンセプトに応じたレイアウトの展開 ④コンセプトに応じた配色の展開 ⑤コンセプトに応じたタイポグラフィの展開 ⑥コンセプトに応じた写真のレタッチ ⑦コンセプトに応じた図版の制作 ⑧Webデザインについての基本知識の習得 Webサイト制作の実践 ⑨Web版ポートフォリオ作成 ⑩運用</p>	
試験／成績評価方法	<p>①実施單元ごとの課題を提示 ②出席状況 総合点が6割に満たない場合は欠点 採点計算方法:素点+(60×出席率)</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	演習	
科目名	デザイン学(DTP)	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	112時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野1年	
履修条件	特になし	
到達目標	2D制作において必須である、デザインの基本的な技術の習得を目指す。	
授業の内容 ／計画	<p>実務としてデザインをする場合に、必要となる技術、知識の基本について指導を行う。</p> <p>以下の分野を履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①色彩検定3級レベルの知識と検定対策 ②線による画面構成 ③色彩構成 ④二色構成(ピクトグラム) ⑤コラージュ技法による表現 ⑥平面から立体を考える 	
試験／成績 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①実施单元ごとの課題を提示 ②出席状況 <p>総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通年	
授業方法	講義	
科目名	CG概論	
担当教員	実務経験有り。Webデザイン、画像処理、コンサルティング事業	
必須選択	必須	
授業時間	112時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野1年	
履修条件	特になし	
到達目標	CGエンジニア検定ベーシック合格レベルの、CGの基本的な技術の理解を目指す。アニメーション、映像、ゲーム、VR、ARアプリなどの、ソフトウェアの開発やカスタマイズ、システム開発、作品制作を行うための基礎知識を修得する。	
授業の内容 ／計画	<p>実務経験の中で必要となる知識が集約された資格取得について履修する。各内容について、資格取得の為に知識だけでなく、実際に経験した事を交えて授業を行う。</p> <p>以下の分野を履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①デジタルカメラモデルとビジュアル情報処理の原理の対応 ②コンピュータで形を数値的に記述するモデリング技術 ③デジタルカメラモデルにおける写実的な表現技法 ④多数の静止画を連続表示して動きを見せるアニメーション技法 ⑤画像の濃淡変換に関する各種処理技術 ⑥ビジュアル情報処理及びCG専用システムと周辺機器 ⑦知的財産権と情報セキュリティ 	
試験／成績 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①学習分野ごとの修得確認テストの累積による全体評価(合計60点満点) ②講義への取組み状況評価(40点満点) <p>①と②の合計により総合評価点を算出する。 総合評価点が6割に満たない場合は未認定とする。</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	講義	
科目名	キャリア対策 I	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	56時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	デザイン経験談をベースに、社会人になって目の前の仕事に追われながらも、モノづくりの楽しさを知ってもらう。また、活気ある粋な日々を過ごせる一つのアイデアを提案し、個々のキャリア目標を支援する。	
授業の内容 ／計画	<p>以下の内容を履修する</p> <p>①ドキュメンタルトレーニングについて</p> <p>②デザイン業界で就職する事、その難しさ →「雑誌vsカタログ」 →「CIvsサイングラフィック」 →「CIvsポップ」</p> <p>③ポートフォリオについて</p> <p>④プロのデザイナーと社会人について</p> <p>⑤デザイナーの面接と一般企業とその違い</p> <p>・履歴書の作成 ・面接指導／面談 ・ポートフォリオのチェック</p>	
試験／成績 評価方法	<p>①課題提出</p> <p>②出席状況</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	講義	
科目名	模写 I	
担当教員		
必須選択	選択	
授業時間	32時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	教科書の参考図を模写し、基本と体の構図を写す	
授業の内容 ／計画	<p>以下の内容を履修する。</p> <p>以下のページを模写を実施する。</p> <p>①顔のアタリ ②顔のパーツ ③体の構図まで</p>	
試験／成績 評価方法	③出席状況	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	後期	
授業方法	講義	
科目名	造形学 I	
担当教員		
必須選択	選択	
授業時間	112時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	平面の画面構成から造形による表現力を養う	
授業の内容 ／計画	<p>以下の内容を履修する。</p> <p>①線による画面構成 ②色彩構成 ③切り絵による二色構成 ④平面から立体を考える ⑤コラージュ技法</p>	
試験／成績 評価方法	<p>①各課題による採点 ②出席状況、授業態度 総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	講義	
科目名	色彩学	
担当教員		
必須選択	選択	
授業時間	56時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野1年	
履修条件	特になし。	
到達目標	色彩に関する基本概念と幅広い知識を学ぶ	
授業の内容 ／計画	<p>以下の内容を履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①光と色 ②色の三属性と色立体 ③表色系 ④色彩心理、視覚効果 ⑤配色調和 ⑥ファッション、インテリア、エクステリアと色彩 ⑦配色技法 	
試験／成績 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①各項目小テストの採点、検定の合否 ②出席状況、授業態度 <p>総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	演習	
科目名	デッサンⅡ	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	128時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	一年次に習得した表現力をより精密描写、質感・立体表現の向上させ就職活動において必要な作品を制作する。	
授業の内容 ／計画	<p>B3画用紙に鉛筆デッサンを中心に静物画、人物画などで視点、構図、バランス感覚を高める。</p> <p>①様々なモチーフを描写Ⅰ(靴、鞆など身近なモノを様々な視点で観察する) ②様々なモチーフを描写Ⅱ(靴、鞆など身近なモノを様々な視点で観察する) ③様々なモチーフを描写Ⅲ(靴、鞆など身近なモノを様々な視点で観察する) ④精密描写(レタリング等できるだけ細かいところまで観察してリアリティを追求) ⑤静物画(ボールペンによるハッチング効果の表現) ⑥絵画模写(構図と陰影表現の観察) ⑦静物画(色鉛筆による着彩) ⑧人物、風景クロッキー(速写訓練素早く形を捉える) ⑨室内風景画(透視図など遠近感を正確に描けるよう観察する) ⑩屋外風景画(透視図など遠近感を正確に描けるよう観察する)</p>	
試験／成績 評価方法	<p>①各課題による採点 ②出席状況、授業態度 総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他	80%以上の出席が必要	

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	演習	
科目名	2D実習応用	
担当教員	Webデザインにかかわる実務経験有り	
必須選択	必須	
授業時間	56時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野2年	
履修条件	特になし	
到達目標	2D制作において必須である、ソフトウェア操作とデザインの基本的な技術の習得を目指す。ソフトウェアの操作技術、デザイン技術のスキルアップを目指す。	
授業の内容 ／計画	以下の内容を履修する。 ①Illustrator、Photoshopを使用したデザインの応用実習 ②文字組を意識したデザインの応用実習 ③配色を意識したデザインの応用実習 ④画像の加工及び画像を使用したレイアウト構成を意識したデザインの応用実習 ⑤コンテスト応募 ⑥グループ制作 ⑦ポートフォリオ作成(印刷データの扱い含む)	
試験／成績 評価方法	①各課題による採点 ②出席状況、授業態度 総合点が6割に満たない場合は欠点	
その他	80%以上の出席が必要	

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	演習	
科目名	ポートフォリオ制作	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	28時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野2年	
履修条件	特になし	
到達目標	ポートフォリオの作成を通して作品の見せ方や文字組み、紙面レイアウトデザインのスキルアップを目指す。他の授業で作成した作品も随時追加し、ポートフォリオの質と量を向上させる。	
授業の内容 ／計画	以下の内容を履修する。 ①レイアウト構成デザイン考案 ②新規作成作品の追加 ③各作品のブラッシュアップ ④ポートフォリオ作成 ⑤ポートフォリオ印刷(印刷データの扱い含む)	
試験／成績 評価方法	①各課題による採点 ②出席状況、授業態度 総合点が6割に満たない場合は欠点	
その他	80%以上の出席が必要	

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	演習	
科目名	キャラクターデザインⅡ	
担当教員	イラストレーターとして実務経験有り	
必須選択	必須	
授業時間	112時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	ポートフォリオ、コンテストに向けての具体的なイラスト制作	
授業の内容 ／計画	<p>実務経験から、クライアントから依頼のあった多種多様なキャラクターイラスト案件について対応できるように、キャラクターを描く為に必要な技術を指導する。</p> <p>以下の内容を履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①動きのあるポーズ(パース技法を使って描く) ②イラストレーターを使ってのUI制作 ③学祭用ポストカード制作 ④GFFコンテスト用作品制作 ⑤商品の擬人化 ⑥背景と人物(シーンイラスト) 	
試験／成績 評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①各課題による採点 ②出席状況、授業態度 <p>総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他	80%以上の出席が必要	

開講年度	2022	
開講学期	後期	
授業方法	演習	
科目名	卒業制作	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	128時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野2年	
履修条件	特になし	
到達目標	卒業制作は、学生個人の自由テーマとする。アナログ画材を主体に自分で形を作り出す想像力、造形力をつけるとともに作者の意図と作品価値が伝わることを目標とする。	
授業の内容／計画	<p>以下の内容を履修する。</p> <p>各自で作品テーマを考案しスケジュール管理を行い、オリジナル作品制作する。</p> <p>①テーマの決定 ②資料収集、分析 ③コンセプト表現の方法を決定 ④納期に従って制作スケジュールを決定 ⑤制作、報告</p> <p>作品については、制作発表会で出展する。</p>	
試験／成績評価方法	<p>①各課題による採点 ②出席状況、授業態度 総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他	80%以上の出席が必要	

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	演習	
科目名	DTP実習	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	28時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野2年	
履修条件	特になし	
到達目標	印刷のプロセス踏まえた紙媒体・印刷データの基礎知識学び、作品のブラッシュアップを含め、デザイン技術のスキルアップを目指す。 作品のブラッシュアップを含めたデザイン技術のスキルアップを目指す。	
授業の内容／計画	デザイン業務をする場合に、実務経験から得た効率の良いソフトウェアの使い方について学び、応用できる力を養う。 以下の内容を履修する。 ①Illustrator、Photoshopを使用したデザインの応用実習 ②文字組を意識したデザインの応用実習 ③配色を意識したデザインの応用実習 ④画像の加工及び画像を使用したレイアウト構成を意識したデザインの応用実習 ⑤コンテスト応募 ⑥グループ制作 ⑦ポートフォリオ作成(印刷データの扱い含む)	
試験／成績評価方法	①各課題による採点 ②出席状況、授業態度 総合点が6割に満たない場合は欠点	
その他	80%以上の出席が必要	

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	演習	
科目名	Maya実習	
担当教員	ゲームキャラクター制作等の実務経験有り	
必須選択	必須選択	
授業時間	128時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野2年	
履修条件	特にないが、3D実習(CG1後期)と合わせて履修していることが望ましい。	
到達目標	3DCG制作における知識の習得およびワークフローの学習と理解 ゲーム開発における3DCG制作の知識およびスキルの習得 Mayaの機能の習得およびポートフォリオ掲載を見据えた作品の作成	
授業の内容 ／計画	以下の内容の基礎を履修する。 ①Mayaの基本操作 ②ポリゴンモデリング ③カーブとサーフェス ④不正なモデリングデータとは何か？ ⑤マテリアルとシェーダー ⑥シェーディングネットワーク ⑦レンダリング設定とArnoldレンダラー ⑧様々なモデリング技法 ⑨アニメーションの基礎 ⑩リグとコンストレイント ⑪ボーン、スケルトン、ジョイント ⑫HumanIKを利用したキャラクターアニメーション	
試験／成績 評価方法	①提出課題の評価 ②出席状況 総合点が6割に満たない場合は欠点	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	演習	
科目名	映像制作	
担当教員		
必須選択	必須選択	
授業時間	128時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野2年	
履修条件	PC(Windows)の基本操作を習得していること。1年次にMAYAの授業を履修していること。	
到達目標	Mayaを使用した3DCGアニメーション制作方法を学ぶ。 映像の概念や種類などの知識、制作の流れを把握し、 企画書からシナリオ、絵コンテ、制作までの工程を実習する。	
授業の内容 ／計画	以下の内容を履修する。 ①映像の概念、種類、規格など ②映像のデータフォーマットやコーデック ③映像制作の基本的な全体の流れ ④映像の企画書の基本的な書式 ⑤シナリオ作成の前工程の流れ ⑥シナリオの基本的な書式 ⑦シナリオ作成 ⑧カメラ、レンズの知識 ⑨カメラワーク、ポジション、アングルなど ⑩照明の知識や種類、ライティングなど ⑪絵コンテの書式 ⑫絵コンテ作成 ⑬Maya、アフターエフェクト等を使用したCG動画作品の制作 ⑭コンテスト用のアニメーション作品の制作と応募	
試験／成績 評価方法	①提出課題の評価 ②出席状況(80%以上の出席が必要) ①と②を踏まえ学則に従い、総合点が6割に満たない場合は欠点とする。	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	演習	
科目名	WebデザインⅡ	
担当教員	Webデザインにかかわる実務経験有り	
必須選択	必須選択	
授業時間	128時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野2年	
履修条件	2年制課程の学生が望ましい	
到達目標	<p>アートディレクタ・Webデザイナー・コーダとして求められる、Webサイトの制作技術を実習を通して習得することを目指す。</p> <p>企画に応じたデザイン案を制作する。必要なビジュアル要素を制作、デザインをコーディングする。レスポンスWebデザインの習得を目指す。</p>	
授業の内容／計画	<p>実務としてWebサイトの構築を行った時に、必要となる技術、知識の基本について指導を行う。</p> <p>以下の分野を履修する。</p> <p>①基礎的なHTMLによるWebページ制作(構造定義) ②基礎的なスタイルシート(CSS)による体裁の定義 HTML5+CSS3でのWebサイト ③コンセプトに応じたレイアウトの展開 ④コンセプトに応じた配色の展開 ⑤コンセプトに応じたタイポグラフィの展開 ⑥コンセプトに応じた写真のレタッチ ⑦コンセプトに応じた図版の制作 Webサイト制作の実践 ⑧Javascriptの実装 ⑨WordPressを使用したサイト構築 ⑩運用</p>	
試験／成績評価方法	<p>①各課題による採点 ②出席状況、授業態度 総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他	80%以上の出席が必要	

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	演習	
科目名	就職対策	
担当教員		
必須選択	必須選択	
授業時間	128時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野2年	
履修条件	2年制課程の学生が望ましい	
到達目標	就職活動用作品制作とブラッシュアップを行いながら更にデッサン力を高める	
授業の内容 ／計画	<p>以下の内容を履修する。</p> <p>①過去作品の見直し ②修正、ブラッシュアップ箇所(形、陰影、質感等)のチェック ③修正、ブラッシュアップ作業 ④作品のチェック ⑤ポートフォリオ用での不足作品の制作計画 ⑥作品制作 ⑦作品撮影(随時) ⑧作品のポートフォリオ用データ作成(随時)</p>	
試験／成績 評価方法	<p>①各課題による採点 ②出席状況、授業態度 総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他	80%以上の出席が必要	

開講年度	2022	
開講学期	通年	
授業方法	講義	
科目名	CG概論Ⅱ	
担当教員	実務経験有り。Webデザイン、画像処理、コンサルティング事業	
必須選択	必須	
授業時間	112時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野2年	
履修条件	特になし	
到達目標	<p>Webデザイナー検定エキスパート合格レベルの、Webサイトの企画・制作・運用に関する専門的な理解と、Webサイトデザインに知識を応用する能力の修得を目指す。</p> <p>コンセプトメイキングなどの準備段階から、Webページデザインなどの実作業、テストや評価、運用まで、Webデザインに必要な多様な知識を修得する。</p>	
授業の内容／計画	<p>実務経験の中で必要となる知識が集約された資格取得について履修する。各内容について、資格取得の為に知識だけでなく、実際に経験した事を交えて授業を行う。</p> <p>以下の分野を履修する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①Webサイトの種類・仕組み・閲覧機器・素材制作・CSS等の基礎知識 ②制作に係る人材とその能力 Webサイト制作の一般的なプロセス ③Webサイトのコンセプトメイキングのプロセスと具体的な手法 ④情報の収集・分類・組織化 情報をWebサイト構造に展開する手法 ⑤インタフェースのあり方 ナビゲーション機能の考え方 利用方法 ⑥動きと音を使った表現を可能にしている技法 その注意点 ⑦各種サービスを実現している技術 Webサイト自体を支えている技術 ⑧評価方法 運用保守 メンテナンス作業 各種分析手法 ⑨知的財産権と著作権表示 	
試験／成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①学習分野ごとの修得確認テストの累積による全体評価(合計60点満点) ②講義への取組み状況評価(40点満点) <p>①と②の合計により総合評価点を算出する。 総合評価点が6割に満たない場合は未認定とする。</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	講義	
科目名	キャリア対策Ⅱ	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	56時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	デザイン経験談をベースに、社会人になって目の前の仕事に追われながらも、モノづくりの楽しさを知ってもらう。また、活気ある粋な日々を過ごせる一つのアイデアを提案し、個々のキャリア目標を支援する。	
授業の内容 ／計画	<p>以下の内容を履修する</p> <p>①ドキュメンタルトレーニングについて</p> <p>②デザイン業界で就職する事、その難しさ →「雑誌vsカタログ」 →「CIvsサイングラフィック」 →「CIvsポップ」</p> <p>③ポートフォリオについて</p> <p>④プロのデザイナーと社会人について</p> <p>⑤デザイナーの面接と一般企業とその違い</p> <p>・履歴書の作成 ・面接指導／面談 ・ポートフォリオのチェック</p>	
試験／成績 評価方法	<p>①課題提出</p> <p>②出席状況</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	通期	
授業方法	講義	
科目名	色彩学Ⅱ	
担当教員		
必須選択	選択	
授業時間	56時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	色彩のより高度な知識を学びつつ、イメージ配色等の演習を行い色彩力を高める	
授業の内容 ／計画	<p>以下の内容を履修する。</p> <p>①光と色 ②色表示 ③表色系 ④色彩心理、視覚効果 ⑤配色調和 ⑥デザインと色彩 ⑦配色技法</p>	
試験／成績 評価方法	<p>①各項目小テストの採点、検定の合否 ②出席状況、授業態度 総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	演習	
科目名	造形学Ⅱ	
担当教員		
必須選択	選択	
授業時間	112時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	平面の画面構成から造形による表現力を養う	
授業の内容 ／計画	<p>以下の内容を履修する。</p> <p>①線による画面構成 ②色彩構成 ③切り絵による二色構成 ④平面から立体を考える ⑤コラージュ技法</p>	
試験／成績 評価方法	<p>①各課題による採点 ②出席状況、授業態度 総合点が6割に満たない場合は欠点</p>	
その他		

開講年度	2022	
開講学期	前期	
授業方法	講義	
科目名	模写Ⅱ	
担当教員		
必須選択	必須	
授業時間	32時間	(状況よりオンラインと対面の併用形式)
対象学年	CG分野2年	
履修条件	特になし。	
到達目標	教科書の参考図を模写し、体の構図と性別・動きを写す	
授業の内容 ／計画	<p>以下の内容を履修する。</p> <p>以下のページを模写を実施する。</p> <p>①体の構図(復習)</p> <p>②男女の描き分け</p> <p>③基本の動き・パーツの動き</p>	
試験／成績 評価方法	③出席状況	
その他		

開講年度	2022
開講学期	通期
授業方法	講義
科目名	課外授業
担当教員	
必須選択	必須
授業時間	16時間
対象学年	ゲーム、CG分野1, 2年
履修条件	特になし
到達目標	社会性を身に付ける。 与えられた担当について、責任をもって最後までやり遂げる責任感を身に付け、集団生活における責任感を養う。
授業の内容／計画	<p>学内イベントにて与えられた担当業務について、学年、専攻問わず協力をする。コミュニケーション能力の向上やチームワークについて学び、社会性を身に付ける。</p> <p>①制作発表会 出展する作品について、出展方法など、当日の準備を行う。</p> <p>②関係企業講演会やセミナー 業界の動向や目指す職業についての知識習得をする。 ・報告書(レポート)を提出する。</p> <p>③学科イベントの実施 学科の制作発表会の実施・運営</p>
試験／成績評価方法	担当教員とのディスカッション及び報告書(レポート)
その他	

開講年度	2022
開講学期	通期
授業方法	演習
科目名	インターンシップ
担当教員	
必須選択	選択
授業時間	40時間
対象学年	1学年
履修条件	特になし
到達目標	<p>在学中に一定期間、自分の専攻や将来のキャリアに関連した企業に出向いて実際業務に携わる体験型の職業研修に参加する事。企業体験を通じて専攻した分野と将来の職業に対する興味が高まるだけでなく、職業人としての自覚がもてる。</p>
授業の内容／計画	<p>長期休み期間を利用し、原則、業界関係企業が実施するインターンシップへ参加する。</p> <p>①前期 ・夏休み</p> <p>②後期 ・冬休み ・3月1日～3月31日(次年度卒業者のみ)</p> <p>上記期間にて、5日以上参加する。</p>
試験／成績評価方法	<p>①報告書 ②レポート</p>
その他	